

平成29年11月1日【日本下水道新聞】  
<循環のみち下水道の持続・進化へ満額確保！>  
公益社団移行でさらなる貢献

## 公益社団移行でさらなる貢献

一般社団法人全国上下水道コンサルタント協会会長



野村 喜一

国民生活にとって欠くことのできないライフラインである下水道施設を健全に維持・運営していくためには、計画的な改築・更新や防災・減災対策をはじめ、新たなニーズへの対応などに関する

施策の充実と所要事業費の確保は不可欠です。

さらに、長期的には人口減少が進展し、厳しい財政状況が継続する中で、より一層、事業運営に不可欠な人・モノ・カネに対する制約は厳しくなると見込まれます。よって、新技術の開発・導入による効率化・高度化や、官民・官々・民々のさまざまな連携により物理的のみならずソフト的な広域化などを推進していく必要があります。

水コン協は、このような状況を踏まえ、上下水道コンサルタントが下水道事業の運営により一層貢献できるよう、提案や人材確保・育成、広報の各活動を強化することとし、これに合わせて「公益社団法人」への来年4月の移行を目指しています。

水コン協は、今後も上下水道の発展と事業継続のため、その社会的責任をしっかりと果たしてまいります。